



「合唱にかける生徒たちの思い」

校長 中山 徹

10月28日(土)に、本校の文化発表会を実施しました。「舞台の部」では今年度も合唱コンクールを行いました。

合唱コンクールは音楽の授業の延長線上にあるものですが、学年・クラスの取組としても、とても大きな意味をもつ行事です。

本校は各学年2学級、計6学級の小規模校ではありますが、充実した内容で実施でき、生徒たちにとって思い出深いコンクールになったと考えています。



1年生

課題曲「マイ・バラード」 自由曲 A組「HEIWAの鐘」 B組「COSMOS」

中学校1年生の年齢では、男子は発声が安定せず声が出しにくい頃です。「どうなるのかな」と考えていました。でも、実際聴いてみると、男子は声がずいぶんまとまって出ているなど感じました。女子も、しっかりと声を出そうと頑張っていました。コンクールの審査員、作曲家 若松 歓 先生が「1年生は大健闘だった」と褒めて下さいました。私もそう感じました。A組、B組とも、1年生らしい、一所懸命さが伝わってくる、爽やかな合唱でした。

2年生

課題曲「時の旅人」 自由曲 A組「自分らしく」 B組「時を越えて」

1年前の合唱コンクールの舞台では、彼らの一所懸命さは伝わって来ていたのですが、やや声にばらつきがありました。今年は、多くの男子が変声期を終えたことにより、発声も安定し、また女子も表現力が高まり、学年全体として合唱の質が高まったと思います。課題曲の『時の旅人』の、歌い出しの部分などは、A組、B組とも迫力があり、「歌への思いが込められているな」と感じました。両クラスとも、この1年間の成長を感じさせてくれる、嬉しい合唱でした。

3年生

課題曲「あなたへ」 自由曲 A組「証」 B組「決意」

3年生は学年全体の生徒数が少なく、苦労も多かったことと思います。それでも、課題曲・自由曲とも、見事に仕上がり、素晴らしい合唱となりました。女子の綺麗な高音、男子の迫力ある低音も、とても素敵でした。両クラスとも「最後の合唱コンクール」にかける思いが歌声に乗り、聴いていて思わず目頭が熱くなるような、感動的な合唱でした。期待以上の合唱を披露してくれました。「最上級生としての実力」を見事に発揮してくれた、完成度の高い合唱だったと思います。

「舞台の部」では、合唱コンクールのほかに、生徒海外派遣報告、空手部の演舞、吹奏楽部の演奏も行われました。また、今年度は、校舎を使って「展示の部」も実施し、教科、学年、部活動などの生徒作品を展示しました。

文化の秋にふさわしい1日となりました。